

所属・職位	医学部医学科マトリックス医学講座・准教授	
氏名	松尾 哲孝 (Matsuo Noritaka)	
取得学位	博士 (農学)、九州大学、1996年3月	
SDGs目標	 	
研究分野	マトリックス生物学、生化学、分子生物学	
研究キーワード	細胞外マトリックス、細胞分化、転写、機能性因子	
研究内容	<p>1) 細胞外マトリックス分子の機能解析</p> <p>我々の生体は、種々の細胞とそれを取り巻く細胞外環境の相互作用によって組織・臓器が形成され、機能が維持されています。従って、生命現象や疾患のメカニズムを解明するためには、細胞自身だけでなく、細胞外マトリックスの役割を知る事が重要と思われます。我々は、これら分子の中で、コラーゲン分子に着目し、その発現調節機構や分子自身の機能について解析を進めています。</p> <p>2) 天然成分の生体調節機能因子</p> <p>我々の周りには、数多くの天然成分が存在していますが、その中には、我々の生体維持に機能的に作用する因子を含んでいる事が知られています。これら機能因子を検索、同定することは、医薬とは異なり、日常生活で我々の健康状態を維持し、改善することが可能となります。我々は、天然成分の様々な生体調節機能を検討すると共に、その作用機序の解明を進めています。</p> <p>3) 間葉系幹細胞の組織特異的分化に関わる因子の検索及び機能解析</p> <p>未分化間葉系幹細胞からは、骨・軟骨・皮膚・筋肉・脂肪細胞などに分化していくことが知られています。これら各組織への分化メカニズムについては、未だ謎の部分が多いですが、組織特異的な転写因子や足場となる細胞外マトリックス分子などがこの課程に関与していることが判ってきました。我々は、再生医療を目指して、組織特異的な分化課程に関与する因子を検索し、その機能解析を進めています。</p> <p>関連リンク：<a href="https://www.med.oita-u.ac.jp/matrix/">https://www.med.oita-u.ac.jp/matrix/</a></p>	
研究業績・アピールポイント	<p>&lt;代表的な論文&gt;</p> <p><u>N. Matsuo, S. Tanaka, M. K. Gordon, M. Koch, H. Yoshioka, F. Ramirez.</u> CREB/AP1 protein complexes regulate transcription of the collagen XXIV gene (Col24a1) in osteoblasts. <b>J. Biol. Chem.</b> 281; 5445-52; 2006</p> <p>H. Nagato, <u>N. Matsuo</u>, H. Sumiyoshi, K. Sakata-Takatani, M. Nasu, H. Yoshioka. The transcription factor CCAAT-binding factor CBF/NF-Y and two repressors regulate the core promoter of the human pro-<math>\alpha</math>3(V) collagen gene (COL5A3). <b>J. Biol. Chem.</b> 279; 46373-83; 2004</p> <p><u>N. Matsuo</u>, W. Yu-Hua, H. Sumiyoshi, K. Sakata-Takatani, H. Nagato, K. Sakai, M. Sakurai, H. Yoshioka. The Transcription factor CCAAT-binding factor CBF/NF-Y regulates the proximal promoter activity in the human <math>\alpha</math>1(XI) collagen gene (COL11A1). <b>J. Biol. Chem.</b> 278; 32763 - 70; 2003</p> <p>R. Kawano, <u>N. Matsuo</u>, H. Tanaka, M. Nasu, H. Yoshioka, K. Shirabe. Identification and characterization of a soluble cadherin-7 isoform produced by alternative splicing. <b>J. Biol. Chem.</b> 277; 47679-85; 2002</p>	